

第7回京都映画若手才能育成ラボ（Kyoto Filmmakers Lab 2014）結果報告

平成27年2月5日
京都文化博物館



国内・海外の若手映画製作者を対象にして、東映京都撮影所、松竹撮影所のオープンセットを使い、短編時代劇作品を製作するワークショップ（公用語は英語）。時代劇セット、美術、照明、衣裳など本編映画と同じ施設・道具を使用し、京都伝統の本格的時代劇を体験する。

応募に関しては、web公募<2014年9月22日(月)～11月7日(金)>の結果、44カ国147名の応募があった。審査の結果、監督、プロデューサー、脚本、撮影、アニメーションのスキルを持つ12カ国から外国人11名（うち日本在住1名）、日本人9名の若手作家20名が審査を通過。それぞれの出身国は日本、イギリス、スペイン、アメリカ、タイ、デンマーク、ルーマニア、ネパール、ベトナム、台湾、インドネシア、フィリピンとなった（最終的な参加人数は19名）。

2014年12月15日(月)～12月18日(木)4日間に渡って京都文化博物館、東映京都撮影所、松竹撮影所を会場にワークショップを開催。京都市内の町家を合宿所とし、参加者全員が泊まりこむ合宿形式をとった。

ワークショップでは、石原興氏（映画監督／松竹）、菅原俊夫氏（殺陣師／東映）監修によるHands-on形式の時代劇製作に加え、東映剣会による殺陣講座等も開催した。また、世界の歴史劇を集めた映画祭「京都ヒストリカ国際映画祭」での映画上映・トークショー及び京都映画企画市の観覧をオプショナルのジョイント・プログラムとして招待した。

主 催： 京都映画若手才能育成ラボ実行委員会
<京都府、映像産業振興機構京都事務所、京都文化博物館、東映京都撮影所、松竹撮影所>
特別協力：株式会社ディレクターズ・ユニブ、ブラックマジックデザイン株式会社

1 参加者募集

期 間： 2014年9月22日(月)～11月7日(金)
方 法： web ページからの申込み（3分以内の自作サンプルDVDは事務局まで郵送）
応募件数： 147名

(国籍内訳：インドネシア 22 名、日本 16 名、フィリピン 13 名、インド 13 名、アメリカ 7 名、台湾 5 名、ベトナム 5 名、ネパール 4 名、アルゼンチン 4 名、ルーマニア 3 名、イギリス 3 名、リトアニア 3 名、スペイン 3 名、イタリア 3 名、カンボジア 3 名、モルドバ 2 名、スロバキア 2 名、フランス 2 名、ブルガリア 2 名、タイ 2 名、スリランカ 2 名、レソト 1 名、ハンガリー 1 名、ロシア 1 名、デンマーク 1 名、ブラジル 1 名、ペルー 1 名、カナダ 1 名、ボツワナ 1 名、グアテマラ 1 名、オーストラリア 1 名、チュニジア 1 名、ドイツ 1 名、キューバ 1 名、レバノン 1 名、ポーランド 1 名、シンガポール 1 名、オーストリア 1 名、セルビア 1 名、トルコ 1 名、アイルランド 1 名、ナイジェリア 1 名、ルーマニア／ハンガリー 1 名、イギリス／モロッコ 1 名、チェコ／日本 1 名、イタリア／チェコ 1 名、フランス／カナダ 1 名、ドイツ／南アフリカ 1 名)

※ 再応募者数：2013 年の応募者 18 名 2012 年の応募者 15 名、2011 年の応募者 3 名、2009 年の応募者 1 名。その内、今年採用者数：2013 年の応募者 3 名、2012 年の応募者 1 名。

2 参加者審査

審査日： 2014 年 11 月 13 日 (木)

会 場： 京都文化博物館 7 階会議室

審査員： 高橋剣氏 (東映京都撮影所製作部)、尾崎誠氏 (松竹撮影所製作部)

審査通過： 20 名

内 訳：

・外国人 11 名 (うち日本在住 1 名)、日本人 9 名。

<日本、イギリス、スペイン、アメリカ、タイ、デンマーク、ルーマニア、ネパール、ベトナム、台湾、インドネシア、フィリピン>

・男性 14 名、女性 6 名が選抜された。ただし、女性 1 名 (台湾) のキャンセルのため、最終参加内訳は、男性 14 名 女性 5 名の計 19 名となった。

3 シナリオ選考コンペ、監督選考と参加者撮影担当分け

シナリオ選考コンペと採用シナリオについて：

・参加者から 3 分を目処に作品シナリオを公募。7 名から計 7 本のシナリオ提出があった。

・ラボのスタッフがセット・俳優等の条件を考慮しながら以下の 2 作品を選出。

① 中司佳吾『Hidden Christians (隠れキリシタン)』(東映チーム)

② 山崎雅史『Holy Sardine (終鰯)』(松竹チーム)

監督選考について：審査時の得点数と希望から 2 名を選出。撮影担当分け：参加者の希望を重視しながらラボ・スタッフが割り振った。

【東映チーム】 スーパーヴァイザー：菅原俊夫氏 (殺陣)

パトリック・ディッキンソン (監督／イギリス)、エンリケ・サンチアゴ (撮影／スペイン)、マイケル・パンデューロ (記録／デンマーク)、キンカン・シリピリヤクル (撮影助手／タイ)、中司佳吾 (助監督／日本)、サンディ・チェイス (美術／アメリカ)、松本佳乃 (録音／日本)、一刈英里香 (照明／日本)、木部公亮 (照明／日本)、岩崎祐 (製作／日本)

【松竹チーム】 スーパーヴァイザー：石原興氏 (映画監督)

ラルーカ・デイヴィッド (監督／ルーマニア)、シャイレンドラ・カルキ (撮影／ネパール)、ホセマリア・バサ (記録／フィリピン)、黄胤毓 (助監督／台湾)、藤原亮 (助監督／日本)、イファン・イスマイル (美術／インドネシア)、柏原志保里 (録音／日本)、副島新五 (照明／日本)、山崎雅史 (シナリオアドバイザー)、チャン・トラン・ングイエン・ティ (ベトナム／製作)

4 育成ラボ日程

【12月12日（金）】（オプション日／第6回京都ヒストリカ国際映画祭）

- 15:30～ ■ “ヒストリカ・ワールド” 作品上映『ガイド 少年と盲目の旅芸人』
17:32 場所：京都文化博物館 3階フィルムシアター
- 16:00～ ■ “京都映画企画市 Kyoto Film Pitching”
19:30 時代劇をテーマとした企画コンテスト 場所：京都文化博物館 別館ホール
- 18:30～ ■ “ヒストリカ・フォーカス” 作品上映「伊藤大輔初期チャンバラ集」
20:00 ゲスト：佐伯知紀、牧由尚
場所：京都文化博物館 3階フィルムシアター
- 19:00～ ■ ヒストリカ・ミーティングパーティー
20:30 京都の映画・映像関係者、京都ヒストリカ国際映画祭、京都映画企画市、育成ラボの参加者を迎え、京都の映画・映像関係のエキスパートが一堂に会するパーティ。
場所：京都文化博物館 別館ホール

【12月13日（土）】（オプション日／第6回京都ヒストリカ国際映画祭）

- 10:20～ ■ “ヒストリカ・フォーカス” 作品上映『キートンのセブンチャンス』
11:30 ゲスト：坂本頼光（活動弁士）、坂ノ下典正（ギタリスト）、谷垣健治（アクション監督）
場所：京都文化博物館 3階フィルムシアター
- 12:20～ ■ “ヒストリカ・フォーカス” 作品上映『忍者武芸帖 百地三太夫』
14:30 ゲスト：谷垣健司（アクション監督）
場所：京都文化博物館 3階フィルムシアター
- 15:20～ ■ “ヒストリカ・フォーカス” 作品上映『座頭市血煙り街道』
17:00 ゲスト：谷垣健司（アクション監督）
場所：京都文化博物館 3階フィルムシアター
- 17:50～ ■ “ヒストリカ・フォーカス” 作品上映『酔拳2』
20:00 ゲスト：谷垣健司（アクション監督）
場所：京都文化博物館 3階フィルムシアター

【12月14日（日）】（オプション日／第6回京都ヒストリカ国際映画祭）

- 10:20～ ■ “ヒストリカ・スペシャル” 作品上映『るろうに剣心』『るろうに剣心 京都大火編』『るろうに剣心 伝説の最期編』
21:00 ろうに剣心伝説の最期編』
ゲスト：大友啓史（監督）、谷垣健治（アクション監督）、大石学（東京学芸大教授）
場所：京都文化博物館 3階フィルムシアター

【12月15日（月）】

- 13:00～ ■ オリエンテーションと殺陣講座
15:00 場所：東映京都撮影所
参加者、撮影所スタッフそれぞれの自己紹介およびラボ全体の概要と、移動・宿泊やその他注意点などを説明。また殺陣師・菅原俊夫氏、東映剣会のメンバーによる殺陣講座。



殺陣講座風景（東映京都撮影所）



16:00～ ■ブラックマジックデザイン株式会社によるカメラデモンストレーション

18:00 場所：東映京都撮影所、松竹撮影所

■プリプロダクション・ミーティング

各チームに分かれ、使用スタジオ、セット等を確認後、撮影・演出プランの打合せ

場所：東映京都撮影所、松竹撮影所



ブラックマジックのデモ



東映チームの打ち合わせ

20:00～ ■プリプロダクション・ミーティング

21:30 翌日の撮影・演出プランの打合せ。

場所：合宿所（Oil Street Guesthouse and Spaces）

【12月16日（火）】

8:00～ ■時代劇製作 Hands-on 場所：東映京都撮影所、松竹撮影所

18:00 参加者19名が、東映9名・松竹10名の2チームに分かれ、各チーム3分の短編時代劇をスタジオで撮影。（機材協力：ブラックマジックデザイン）

東映チームは、キンカン・シリピリヤクル氏が参加辞退されたため、9名のメンバーで撮影を行った。



松竹チーム撮影風景



- 20:00～ ■プロダクション・ミーティング
 21:30 翌日の撮影・演出プランの打合せ。
 場所：合宿所（Oil Street Guesthouse and Spaces）

【12月17日（水）】

- 8:00～ ■時代劇製作 Hands-on 場所：東映京都撮影所、松竹撮影所
 18:00 時代劇撮影2日目。（機材協力：ブラックマジックデザイン）



東映チーム撮影風景



- 20:00～ ■プロダクション・ミーティングと打ち上げ 場所：太秦界限
 22:00 ラッシュの準備、ポストプロの準備 場所：合宿所（Oil Street Guesthouse and Spaces）

【12月18日（木）】

- 10:00～ ■ラッシュ試写
 11:00 場所：京都文化博物館3階 フィルムシアター
 時代劇製作 Hands-on で撮影した各チームの素材を試写。
- 11:00～ ■「一から始める Davinci Resolve セミナー」（オプション）
 12:30 場所：京都文化博物館3階 フィルムシアター
 講師：ブラックマジックデザイン株式会社 村杉卓也氏
 カラーコレクション用ソフトウェアの最新版の使い方のレクチャー。
- 14:00～ ■ポストプロダクション・ミーティング 場所：京都文化博物館7階サロン

16:00 今後の編集過程について各チーム協議。



ボスプロ風景



※ メディア取材と報道

- 時代劇専門チャンネル：「時代劇ニュース オニワバン！」 2015. 02. 02 放映
- NHK WORLD にて 2015. 05. 26 放送予定